

スペシャルオリンピックス(SO) 海のトーチラン in 菅島

2004年11月13日 (土)

※雨天中止

スペシャルオリンピックス (SO) とは

SOは、知的発達障害のある人たちに様々なスポーツトレーニングや競技会の場を提供するスポーツ組織です。1963年にアメリカのJ・F・ケネディ大統領の妹のユーニス・ケネディ・シュライバー夫人が始め、現在では、世界150カ国以上で100万人のアスリートと75万人を超えるボランティアが参加しています。2005年2月長野県においてアジアで初めての冬季世界大会が開催され、世界80カ国以上が参加する予定です。



菅島

しろんご街道

菅島船着場

したのも瑞賢の構想だと言われています。そんな毎夜篝火を復元し、道しるべとなつた火同様、スペシャルオリンピックスの将来への道しるべとなるようにという思いを込めて聖火に加え最後を飾りたいと思います。

伊勢志摩の灯台と言えば、明治6年に点火された最古のレンガ造り灯台として鳥羽市菅島にある菅島灯台が有名です。11月13日に一日だけ毎夜篝火を再現する形で、スペシャルオリンピックスの火を灯します。そして、その火をスペシャルオリンピックス世界大会が行われる長野県へ聖火を返すために、三重県中に散らばった聖火を12月11日に海のトーチランとして船（アクセスディングー）で再度津市へ集めます。

スケジュール

10:30~11:30 アクセスディングー体験試乗会

12:45~12:50 セレモニー
(アクセスディングーによる海のトーチラン)

13:00~13:30 トーチラン
(菅島船着場 ~ しろんご街道 ~ 菅島灯台)

13:30~13:40 菅島灯台前 聖火点火



海のトーチランと菅島灯台

10月2日に津市で分火し、県内各地で始まりましたスペシャルオリンピックス500万人トーチラン。各地それぞれ特性を生かした地域ランを行ない、県内のトーチランも終盤です。

伊勢志摩の航路は難所で有名。そのための道しるべとなる灯台が各岬に点在しています。その昔、灯台ができるまでは毎夜篝（かがり）火が船に陸の位置を知らせるために灯台の代わりだったと聞きます。また、東廻り・西廻り航路の開拓者でも有名な河村瑞賢は三重県南島町の出身でもあり、毎夜篝火を考案

アクセスディングー



アクセスディングーは安定性に優れた小型ヨットです。ほとんど転びませんので障害者や高齢者の方でも安心して操船でき、簡単な説明でマスターできます。

伊勢市大湊を拠点に活動している「セーラビリティ伊勢」の協力を得て、海のトーチランを実現することができました。